

## 秋冬野菜の生産（生育）出荷状況について

全国農業協同組合連合会

平成 20 年 10 月 21 日

第 2 回野菜需給・価格情報委員会資料

キャベツの生産（生育）出荷見通しについて  
（平成 20 年 10 月 10 日時点）

団体名：JAあいち経済連

1. 生産（生育）状況について

(1) 生産状況

ア. 作付状況

系統 2,245ha（前年比 103%）

豊橋、渥美の主力指定産地で増加。豊橋ははくさいからキャベツへの転換がみられる。施設中心の農家もキャベツを栽培  
冬と春の比率は 56 : 44 で前年と同じ。

イ. 作付時期

8 月上旬からは種が始まり、10/10 でほぼ定植も終了。

本年は集中的に降る雨の影響で、定植作業がやや遅れていたが晴れ間をぬって作業を行った。結果として平年並みの作付け時期となった。

(2) 生育状況

ア. 天候の推移

8 月中旬以降、集中的な降雨があった。

イ. 生育状況

渥美半島でヨトウ虫の発生がみられる他は概ね順調。

2. 出荷見通し

(1) 出荷時期

初出荷は 10/6 で昨年より 3 日遅い。

10 月下旬から 4 月いっぱい安定した出荷。ピークは 2 月～3 月で平年並み。

(2) 出荷量

10～4 月の共販総出荷見込み量は昨年の 11 万トンを超える可能性もある。共販計画は 11 万トンであるが今後の天候と 4 月の販売状況にもよる。

3. 販売対策

予約相対取引等契約的取引拡大の要請。

愛知の野菜の取り組みの中で量販店を中心とした販売促進活動を例年通り展開。

業務用販売の拡大。

平成 20 年 10 月 21 日

第 2 回野菜需給・価格情報委員会資料

大根の生産（生育）出荷見通しについて  
（平成 20 年 10 月 14 日時点）

団体名：JA 全農ちば

1. 生産（生育）状況について

(1) 生産状況

ア. 作付状況

840ha で前年より 10ha 増えている。市原地区の増加分で他地区は概ね前年並み。

イ. 作付時期

秋作は平年並み、冬作に於いて資材費高騰によりトンネル作を遅らせ、路地作で 2 月出荷を乗り切る取り組みがある。

(2) 生育状況

ア. 天候の推移

8 月上旬干ばつ、下旬からは降雨が続き 9 月中旬まで続いた。

イ. 生育状況

播種期に局地的な集中豪雨で播種遅れや種が流された情報があったが全体では大きな影響はなく概ね平年並みの見込み。

2. 出荷見通し

(1) 出荷時期

10 月 10 日からスタートしているが地区によっては前年より 1 週間早い地区もあり全体では 2・3 日早いスタートとなった。

(2) 出荷量

秋作は順調な生育の為、平年以上の出荷が見込まれる。

3. 販売対策

例年同様、量販店を中心とした販促活動の充実と販売対策は契約販売の取り組みと計画出荷の遵守・徹底。

## 秋冬はくさいの生産（生育）出荷見通しについて

（平成 20 年 10 月 9 日時点）

団体名：JA 全農いばらき

### 1. 生産（生育）状況について

#### （1）生産状況

##### ア. 作付状況

系統 900ha（前年同）

高齢化・後継者不足により生産者数は減少も大規模生産者が面積を確保する傾向。

10 月上中旬出荷の早い作型は高温障害等の回避により減少。

##### イ. 作付時期

ゲリラ豪雨等の影響で定植作業はやや遅れた（5～7 日程度）ものの、9 月上旬～ピークに入り、順調に進んでいる。一部キャベツの被害ほ場では白菜を植え直すなど散見された。

#### （2）生育状況

##### ア. 天候の推移

8 月中旬以降、30 日以上曇雨天があり、水分過多、日照不足の影響が懸念される。10 月に入り気温低下し病害の拡大は回避できている。

##### イ. 生育状況

定植後の生育は概ね順調も根張りがやや弱いと思われる。

### 2. 出荷見通し

#### （1）出荷時期

開始 10 月下旬～（前年、平年並み）

ピーク 11 月～1 月（前年、平年並み）

#### （2）出荷量

10 月～11 月上旬までの前半は小ぶりながらも、11 月中下旬は平年並みに回復する予想。数量は価格状況により変動すると思われる。

### 3. 販売対策

- ・ 卸売会社と協力し、予約相対取引等、条件付販売を拡大するとともに、生産コスト上昇分を卸売価格に反映するために、流通関係者への要請巡回を実施する。
- ・ 鍋で暖まろう！キャンペーンとのタイアップにより消費拡大活動を展開する
- ・ 卸売会社、量販店パートナー店舗と連携し秋冬野菜の販促活動を展開する。
- ・ 需給バランスが崩れた場合は、安値対策を講じるとともに、行政の協力を得ながら県内生産者に向けた出荷調整の促進活動を展開する。